

# 大鹿村議会だより

令和3年新年号(第35号) 令和3年1月15日 発行：大鹿村議会

## 新しい年を迎えて

大鹿村議会議長 伊東康明

新年あけましておめでとう  
ございます。

昨年中は村民皆様方の力強いご支援により議会活動に専念し、各種の地域振興をはじめ、村政の向上・充実に微力を尽くすことができましたことを心から感謝し、改めて御礼申し上げます。

昨年は世界中が新型コロナウイルスの感染拡大により、国内ではオリンピックが延期となり、多くの行事や大会が中止、縮小になり、村内でもさくら祭りや春秋の歌舞伎公演等多くの行事が中止となりました。経済にも大きな打撃を受けました。また、7月豪雨により村内も多くの場所で災害が発生しましたが、幸いにも人的被害はなく、早期の復旧が進められているところです。年度をまたぎましたが、大

西グラウンドの施設建築・松川インター大鹿線の拡張工事が進められています。

さて、今年は今村長の引退の意向を受け、1月の村長選挙で新村長が誕生します。内外の情勢は厳しいものがありますが、新しい目線で村のリーダーとして活躍されることを期待します。議会といたしましても、まずは新型コロナウイルス感染症対応と、経済・福祉・子育て等の諸問題や議会改革に取り組んでいきたいと思えます。

皆様の一層のご支援・ご鞭撻を心よりお願い申し上げますとともに、まだ先が見えないコロナ禍ですので健康にはご留意され、本年が皆様にとって実り多い年でありますようお願いいたします。新年のご挨拶いたします。

令和2年12月

## 大鹿村議会12月定例会

令和2年12月大鹿村議会定例会が12月9日から18日までの10日間の会期で開会されました。今定例会に提案された議案等は、報告1件、付議事件11件、議員発議1件で、すべて原案どおり可決されました。請願・陳情は陳情2件で、陳情1件は採択、1件は継続審査となりました。

### 報告

報告第1号 令和2年度定期  
監査報告について

者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
議案第5号 令和2年度大鹿村一般会計補正予算(第5号)について

### 付議事件

議案第1号 大鹿村議会議員及び大鹿村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

▼博物館・ろくべん館の1、3月の月曜開館の件費について伊波議員より反対意見がありました。

▼村長選、村議選の選挙運動用自動車、ポスター、ビラが公費負担となります。

議案第6号 令和2年度大鹿村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

議案第2号 大鹿村手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

議案第7号 令和2年度大鹿村立診療所特別会計補正予算(第3号)について

議案第3号 大鹿村介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

議案第8号 令和2年度大鹿村営水道特別会計補正予算(第3号)について  
議案第9号 令和2年度大鹿村介護保険特別会計補正予算(第2号)について

議案第10号 令和2年度大鹿

村後期高齢者医療特別会計補

正予算(第2号)について

議案第11号 大鹿村教育委員

会委員の任命につき同意を求  
めるについて

▼郷路昌代さんが同意されま  
した。

## 陳情

1 「単独親権から共同親権  
へ」民法改正を求める陳情

▼継続審査

2 安全・安心の医療・介護  
の実現と国民のいのちと健康  
を守るための陳情書

▼採択

## 議員発議

発議第1号 安全・安心の医

療・介護の実現と国民のいの  
ちと健康を守るための意見書  
の提出について

## 一般質問

○河本明代議員

\* 柳島村政3期12年を振り

返って、成果や課題は？

村長 1期ごと先が長く感じ

られ、当選した直後、希望と  
不安が入り交じる時期があり  
ました。多くの皆様のご理解  
とご協力によって、職務を果  
たしてこられたと思っていま  
す。心から御礼を申し上げた  
いと思っています。

まず高齢化が進む村にとつ  
て一番気になることは、やは  
り診療所の存在だということ  
を、保健福祉課長時代から感  
じていました。無医村にはし  
ないぞということ、医師の  
継続確保が最重要と思ってい  
て、長く務めていただいた清  
貞先生、次の寺島先生、川妻  
先生、さらに寺島先生、高橋  
先生、網野先生と、大きく空  
けることがなかったことは、  
感謝の一言に尽きます。

就任早々、鳥倉線で事故が  
ありました。これは大変なイ  
ンパクトで、人の命と、公道  
の安全については最大限の注  
意が必要と感じていました。  
ちょうどこのときリーマン  
ショック後の国の交付金が付  
いたこと、その後は林道、村  
道など、補助起債事業等を取  
り込み、安全対策には配慮し

てきたと思っています。同時

に小洪線についても平成17年  
の事故の再来を防ぎたいと行  
動したつもりで、リニア関連  
の道路改良についても、その  
中の一つだと思っています。

同様に安心して住み続ける  
ためのインフラ整備は必要欠  
かさざる件で、道路や砂防、  
治山事業対策は従前の首長同  
様、それ以上に国、県のか  
わりを大事にできていま  
す。流路工や砂防堰堤、治山  
事業などが引き続き行われま  
したので、平成30年、今年と  
2度の災害では、人的、家屋  
等の被害は抑えられたと思っ  
ています。これについては  
国、県等の歴代の関係者には  
感謝しております。

財政状況の改善ですが、こ  
れは平成24年度からの地方交  
付税の基準財政需要額算定基  
準の改定の結果による交付税  
の増が非常に大きかったと  
思っています。また、21年度  
から実施してきた起債の繰り  
上げ償還により、借金より貯  
金の方が多くなったと考えて  
います。  
村内の資源活用にはもう少

し投資的な事業に経費をと考

えたのですが、資源である奥  
山へのアプローチは常に安全  
という二文字の重さを重視せ  
ざるを得ず、さらに何事を起  
こすにも現行のルールの多さ  
に近年特に驚かされ続けまし  
た。そういうことで計画実行  
に至らなかった後半でした。

最近では、何年もかかって築  
きあげられ住民共通の認識と  
して通用していたローカル  
ルールが、法だ、規則だの一  
言で、微塵も無く粉砕されて  
しまう事態で、個人としては  
とても寂しく感じています。  
課題や反省点ですが、事務  
上がりだったために自治体の  
トップとしての資質があるか  
どうかを自問自答しつつの12  
年間でした。重要課題で過去  
から続いている過疎対策、産  
業振興などでは、これはとい  
う効果、結果には至らなかつ  
たという感じを今も持ってい  
ます。これは引き続きの課  
題であると思っています。

リニアについては、この12  
年の間では非常に大きな課題  
であったかと思っています。多く  
の自治体が関与して、整備促

進を願って運動してきた件で

す。村の中が長い間工事現場  
となることは悲しいことでは  
あるが、自然景観、生活環境  
には十分配慮することを求  
めました。また、議員皆様にも  
重大な判断を求めました。

このために23年3月、美し  
い村条例を制定し、景観上の  
条件付けをし、仮設の物に対  
してもルールを当てはめて、  
意見を付け、対応をしても  
らっていると思っています。  
コミュニケーションについ  
ては、2期目以降は年1回自  
治会懇談会を、今年度以外は  
実行して、多くの意見をいた  
だいたと思っています。また  
議員皆様からは48定例会に16  
名の議員さんから延べ221  
件、345項目の一般質問を  
いただきました。これは歴代  
村長最多ではないかと思っ  
ています。これもコミュニケーション  
シジョン確保への協力をいた  
だいたものと思っています。

在任中、不治の病をして2  
人の職員を失ったことが最も  
悔やまれています。改めてご  
冥福をお祈り申し上げます。